

センサー

（株）東レ経営研究所

人材開発部

シニアコンサルタント

手計 てばか
仁志

172

気付けば三友新聞にコラムを寄稿するようになつて三年が経った。当初「三友」とは「三井グループの友」という意味と
思い込んでいたが、後日編集者の方から、
実は『論語』の「益者三友」が由来だと
同った。これは、自分にとつてためにな
る三種類の友人という意味で、正直な友、
誠実な友、博識な友を指す。ちなみに不
正直な友、不誠実な友、口達者な友を指
す「損者三友」という対義語もある。掲
載いただく身でありながら僭越だが、こ
の「三友」について改めて考えてみた。

初めて「益者三友、損者三友」を聞いたのは仕事の関係で上海に住んでいた一
〇年前。当時、部品加工メーカーの外注
管理業務をしていた私の元に、新たな加
工メーカー数
社が「当社な
らもっと良い
加工ができ
る」と売り込



らもっと良い加工ができると売り込

みに来た。立地の良さ、最新設備、税制
優遇などさまざまな謳い文句以上に、透
けて見える本音の動機もまたさまざまだ
った。私たちと一緒に商品の価値を世の
中に届けたいという人、加工業務の独占
契約で一旗揚げたいという人、加工ノウ

オンライン時代の三友を考える

ハウを盗んだ後に独自材料に切り替えて
利ザヤを抜こうと画策する人…。

中国ビジネスでは、会社対会社以上に、
個人対個人の関係がモノを言う。現地の
同僚曰く「益者三友、損者三友」を見抜
く力が必要だと。中国では、他にもこの
ような人間関係に関する故事や金言が本
地に多い。数千年に渡る歴史において土
地の争奪や国の興亡を繰り返す中で、忠
義や欺騙や面子など多層的で複雑な人間
関係の本質を見抜くことがいかに重要

か、先人たちが伝えてきたのだろう。

今年初め、そんな中国の武漢で端を発
した新型コロナウイルスは、半年経った
今もお世界の人のつながりを分断し
続けている。日本においても物理的な移
動制限はもちろんのこと、弱みに付け込
むマスクの高値転売や陽性者への誹謗中
傷など、精神的にも安全サイドと非安全
サイドの分断が進む。一方で分断が進む
ほど連帯への作用も働くもので、ウェブ
会議ツールの進化や医療従事者への感謝
の 릴レー など、私たちはテクノロジーの

力も活用してオンライン時代の新たなつ
ながりを構築しつつある。

今後しばらくは、社会のさまざまな階
層や局面でいくつもの分断と連帯が生ま
れるだろう。その際に重要なのが「三友」
の見極めだ。

最近、少なくとも知人から、使用する
SNSの種類を制限した、アカウントを
閉じた、などの連絡を受けた。曰く、予
想通りで聞こえの良い情報や、似たもの
同士の軽いつながりの中での「いいね」

のし合いっこは、もはや何の新しい価値
にもならないとのこと。一見して連帯し
ているように見える居心地の良いグルー
プは実は単なる同質的な安住の場に過ぎ
ず、無意識のうちにその外側にいる人と
の新たな分断を生み出してはいないか。
そんなことを考えた。

そして、人々の分断に付け込もうとす
る輩はどこにでもいる。自分にとって心
地良い人だけを側に置いていけば、自分
を利用しようとして近づいてくる人を見
抜けない。分断と連帯は表裏一体であり、
そこには益者も損者も同居している。

感染症は、私たちのさまざまな関係を
分断する。ただしウイルスには意思はな
い。分断も連帯も、私たちの意思の結果
だ。自分の意思で同質的なつながりを手
放した余白にこそ、本当に価値のある
「三友」が入ってくる。SNSを毎日チ
ェックし、心地良いつながりを維持する
ために費やしている時間は、果たして自
分の意思なのか、それとも誰かに操られ
てはいないか。テクノロジーの進化によ
って誰とでもつながったり離れたりでき
る社会だからこそ、自分の意思と基準を
持って、自分にとつての「益者三友」を
見極めたい。